

Feature

# SAITAMA IJIN

## 埼玉偉人特集

埼玉には、深谷市出身の実業家・渋沢栄一、本庄市出身の国学者・堀保己一、熊谷出身の女医・萩野吟子といった三偉人の他、数多くの偉人が、これまでの埼玉の長い歴史を作ってきました。そんな偉業を成し遂げた方々の歴史とともに分かりやすく紹介してまいります。

Feature

# SAITAMA IJIN

## 埼玉偉人特集

### - Vol. 1 -

# 渋沢栄一

PROFILE  
1840年2月19日生まれ 深谷市出身 好きなもの:甘いもの・オートミール

READ MORE >

Feature

# SAITAMA IJIN

## 埼玉偉人特集

### - Vol. 2 -

# 萩野吟子

PROFILE  
1851年3月9日生まれ 熊谷市出身 好きなこと:勉強

READ MORE >

Feature

# SAITAMA IJIN

## 埼玉偉人特集

### - Vol. 3 -

# 堀保己一

PROFILE  
1744年5月5日生まれ 本庄市出身 好きなこと:質素偉物

READ MORE >

Feature

# SAITAMA IJIN

## 埼玉偉人特集

### - Vol. 1 -

# 渋沢栄一

PROFILE  
1840年2月19日生まれ 深谷市出身 好きなもの:甘いもの・オートミール

**ざっくり渋沢栄一さん**

“2020年生誕180周年”

日本の資本主義の礎となる、多くの企業の設立や育成に携わる一方で、福祉や教育などの社会事業にも尽力する。2021年は大河ドラマの主人公、2024年より新紙幣一万円札の顔になることで注目を集めている。

埼玉県では偉人として知られ、「渋沢栄一賞」として企業経営者向けの賞がある。

ここがスゴイよ、渋沢さん その1

### 会社500社作ってみた

渋沢栄一さんが関わった企業の数はおよそ500社。

1873年に銀行の第一号を設立し、最後は1928年設立の「日本航空輸送会社」で、単純に年々増え続けると年間9社設立するペース!

第一国立銀行(現在のみずほ銀行)や東京株式取引所(現在の東京証券取引所)、王子製紙(現在の王子ホールディングス株式会社)、東洋紡、帝国ホテルなど、現代でもその名を残す会社や団体の設立に関わりました。

ここがスゴイよ、渋沢さん その2

### 社会事業600個やってみた

会社だけに留まらず、社会貢献活動も渋沢栄一さんのライフワーク。

医療分野では、養育院(現在の東京都健康長寿医療センター)の院長を務めたほか、聖路加国際病院、済生会、東京慈恵会、日本赤十字社の設立などに尽力されます。

教育分野では、一橋大学や日本女子大学、その他では、帝国劇場、日本放送協会、雑誌社や通信社など、幅広い分野の活動を行いました。

ここがスゴイよ、渋沢さん その3

### 農民→志士→幕臣→役人→実業家

渋沢栄一さんが活動していたのは江戸時代末期から昭和まで、11の元号をまたぎます。500もの会社に携わったりと、順風満帆のように見えますが、実は「転職」もたくさんしています。

生家は農家で、藍染めの原料となる藍玉づくりと養蚕も営み、幼いころから家業の手伝いをしていました。20代で尊王攘夷の意思を抱く「尊王攘夷の志士」となりますが、挫折。縁あって、一橋慶喜(後の徳川慶喜)に仕え、その後、慶喜が徳川幕府最後の将軍になると「幕臣」となります。明治維新を迎えたのち、滞欧経験を活かし、明治政府の大蔵省に勤め「役人」となります。そして、1873年、33歳の時に大蔵省を退官し、総監役となり第一国立銀行を開業。「実業家」としてのキャリアをスタートさせていきます。

尊王攘夷の志士から明治政府の役人に、さらには実業家になるうとするなんて本当にスゴイ…!

Feature

# SAITAMA IJIN

## 埼玉偉人特集

### - Vol. 2 -

# 萩野吟子

PROFILE  
1851年3月9日生まれ 熊谷市出身 好きなこと:勉強

**ざっくり萩野吟子さん**

“2021年生誕170年”

日本第1号の公認女性医師。女性解放運動の先駆者としても多くの功績を残す。埼玉県では、萩野吟子の不屈の精神を受け継ぎ、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人や団体、事業所を「さいたま輝き萩野吟子賞」として表彰している。

ここがスゴイよ、吟子さん その1

### 時代を切り拓く

すでにさまざまな学問を修めていた吟子は1875年・24歳で東京女子師範学校(現在のお茶の水女子大)に入学、さらに卒業した1879年には医者の道へ進むため、私立医学校好寿院に入塾。1882年31歳で同校を卒業します。しかし、医師開業試験(当時行われた医師の開業試験です。)の願書が受理されません…。理由は女性であるから…。

吟子はあきらめず、女性の受験について2年を掛けて粘り強く訴え、ついに1884年受験、1885年に公に認められた第一号の女医となりました。

ここがスゴイよ、吟子さん その2

### 女性の社会進出を切り拓く

女性が医師開業試験を受験できないなど、当時女性の地位は大変低いものでした。そんな女性の地位向上を目指して、婦人覚醒運動や婦人参政権運動など社会的活動を行います。腐婚運動の先頭に立ち、女医の必要性を論じ、家庭衛生での女性の役割の重要性を説きました。当時、女性は選挙への参加はもちろんですが、議会の傍聴を行うこともできませんでした。これを撤回する運動を繰り広げた結果、女性の議会傍聴が許されました。

ここがスゴイよ、吟子さん その3

### きっかけは保己一?

1800年に堀保己一が復元させた「令義解(りょうのぎげ)」。これは757年に施行された日本古代国家の基本的な法律である「養老令」の公的解釈を示した書物です。この中に、すでに「女医(によい)」の二文字や「女医を取り立てて郡衛に配置させる」といった文言が記されており、8世紀前半には、女医を養成する「女医博士(によいはかせ)」という職種も設けられていたことが伝えられています。

この記述が、「日本にも女子の医師がいた」という吟子の主張の根拠となり、医師開業試験への参加を訴えたと言われていました。

関連リンク

萩野吟子記念館

Feature

# SAITAMA IJIN

## 埼玉偉人特集

### - Vol. 3 -

# 堀保己一

PROFILE  
1744年5月5日生まれ 本庄市出身 好きなこと:質素偉物

**ざっくり堀保己一さん**

“ヘレンケラーが尊敬した日本人”

読み方は「はなわ・ほきいち」。盲目ながら、全666巻からなる『群書類従』(くんしよるいじゅう)という本を作りました。この本は古代から江戸時代まで日本全国に散らばっている貴重な書を取り集め、まとめたもの。

盲目のハンデも何のその、手のひらに指で字を書いてもらい、文字を覚え、目が見えなくなっただけで聞いた話を忘れることなく、一言一句違わずに語る事ができたほどの記憶力の持ち主!

ここがスゴイよ、保己一さん その1

### 17,000枚×両面で34,000ページ!

保己一が『群書類従』の刊行を決意した1779年当時印刷技術も発展しておらず、「木版印刷」が主流でした。つまり、木に彫刻した版を印刷したのです。『群書類従』に使われた版木(はんぎ)の枚数はなんと17,244枚、両面が使用されたので合計で約34,000ページ分も版木が作られたのです、スゴイ!

ちなみに版は現在も残っており、今でも『群書類従』の印刷に使われているのです。

ここがスゴイよ、保己一さん その2

### 本6万冊覚えていた?

保己一の書庫には6万冊の本が収容され、その全てを覚えていたと言われています。盲目のため、弟子や協力者たちに文章を朗読してもらい、それを耳で聴き、すべての内容を記憶していたそうです。いわば、人間書庫・脳内図書館を持つ男。街の図書館くらいの冊数を全部覚えていたなんて、本当にスゴイ!

ここがスゴイよ、保己一さん その3

### 怒らないって本当ですか?

16歳のときに定めた人生観だそうです。伝記では「人間は小さなことで、感情的に怒るようでは大業は成就しない。どうか、この一年間絶対にそういう気持ちにならないようにと、年のはじめごとに心に誓い、それを生涯にわたって実行した」と伝えています。

関連リンク

堀保己一記念館